

寅さん歩 その20

官公庁の食堂めぐり-22 北区役所



平野 武宏

昨年は東京の大学の学食を食べ歩きました。「寅さん歩」の愛読者から「次はお役所や企業の食堂をお願いします」との声がありました。日本の中枢、中央合同庁舎のある霞が関・大手町や東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催で盛り上がっている東京都庁の食堂を訪問しました。これからは東京 23 区の区役所の食堂を訪問します。

東京 23 区に番号が付いているのを初めて知りました。そのもとは旧自治省（現総務省）がつくったコード番号表です。旧江戸城＝皇居や霞が関官庁街のある千代田区が 1 番です。千代田区を中心に、ここから「の」字にぐるぐる回る順番のようです。

今回は 17 番の北区です。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないように配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。室内の写真撮影は人物の顔が写り込まないことが原則です。メニューや値段は訪問時のもので、最寄り駅は代表例です。

【北区役所】 北区王子本町 1-15-22

最寄駅 JR 京浜東北線 王子駅

1932 年（昭和 7 年）東京市編入で北豊島郡から成立した滝野川区と王子区が 1947 年（昭和 22 年）に合併して北区が誕生。新区名を選ぶにあたっては飛鳥山にちなむ飛鳥区をはじめ赤羽、東北、城北などの案が出ましたが、東京都のどのあたりに位置するか明らかにした名の方が良いという事で北区に決定したとのことです。北区は 23 区の北部に位置し、北端は荒川及び荒川放水路を隔て埼玉県川口市・戸田市です。

旧区名の王子はかつては岸村と呼ばれ領主の豊島一族が紀州熊野権現を勧請し、王子神社を建立したことに因む名で、滝野川の地名は石神井川の流れが滝のように轟いていたことに由来するとのこと。飛鳥山は 8 代将軍徳川吉宗が上野に代わる庶民の花見の場所として桜を植えた地、1873 年（明治 6 年）日本最初の公園の一つに指定さ



れ、園内に残る渋沢栄一旧邸の遺構は国の重要文化財に指定されています。JR王子駅から王子神社に上がると王子神社の前に区役所第1庁舎～第5庁舎があります。寅次郎、王子駅からの上り道を避け都電荒川線の飛鳥山停留場から行きました。

[北区役所 職員食堂]

食堂は第1庁舎B1Fにあり、営業時間は11時30分～14時です。写真下左は日替わり定食A（とんかつ）500円、下右は日替わり定食B（チンジャオロース）500円です。



定食はいずれも日替わり500円でA、B、C（丼）、ヘルシーがあります。他にそば・うどん350円～550円（ミニカレー付きセット）、タンメン500円、ラーメン400円～550円（ミニカレー付きセット）、カレー400円、カツカレー550円があります。

北区は行政の成り立ちから王子地区、赤羽地区、滝野川地区に区分しています。観光スポットでは3地区の他に浮間、西が丘、志茂、十条、豊島、堀船、西ヶ原、田端のエリアを紹介しています。桜の名所や史跡が多くあります。

「寅さん歩」の北区紹介は次の通りです。番号は「寅さん歩」の目次番号です。

都電荒川線沿線：2、東京十社の初詣：3、東京の桜：8、46、47

東京発祥之地めぐり：12、14 東京の富士塚めぐり：27、健康ご利益めぐり：68

東京の紅葉・黄葉：82、花の祭り：89、94、江戸・東京の祭り：101、113、121

新しい祭り：123、東京にこんなところ：129、161、江戸の閻魔大王：190

江戸・東京（23区）の百名山：143

北区の木は「サクラ」、花は「ツツジ」です。

[バーチャルウォーク 途中経過]

2018年(平成30年)10月1日沖縄県辺戸岬をスタートした聖火は沖縄県那覇市から鹿児島県、宮崎県、大分県、福岡県、



山口県、広島県、岡山県、兵庫県、大阪府を経て京都府に入っています。
2019年（令和元年）7月28日現在、スタートから1140Km地点(京都三条大橋の手前)に到着しました。

ウォーキングでは人や自然との多くの「出会い・ふれあい」があります。
寅次郎も「映画の寅さん」に負けないくらいの人との出会いがあります。
ご迷惑をかけない範囲でご紹介します。

[寅次郎がウォーキングで出会った人—21]

～ FWA年間完全完歩達成 女性第一号ウォーカーとご主人 ～

2005年（平成17年）FWA年間43回の例会を完全完歩した女性第一号のウォーカーは西澤眞智子さんです。第5代FWA会長 西澤久裕さんの奥様で、お二人は2000年（平成12年）1月に入会のおしどりウォーカーです。FWA「20年のあゆみ」によると2005年の完歩者（年間20回以上参加）は発足以来最高の107名（会員525名）とのことで、それまでの最高は2003年（平成15年）の79名でした。年間完全完歩は自分の都合だけではなく、周りの都合も整わないとなかなか達成できません。寅次郎も1回不足で涙をのみました。奥様は「当初は完歩など全く頭になかったですが、後半になり目指してみようとなり、達成することが出来ました」と当時を振り返っています。ウォーキングを始めたきっかけは人間ドック健診で狭心症の疑いと診断されて医師からウォーキングを勧められたとのこと。寅次郎も会社の健康診断で脂肪肝・高脂血症の疑いと診断され、医師から歩くことを勧められました。初ウォークは市の広報で知りご主人と参加した2000年（平成12年）1月FWA「藤沢七福神めぐり」とのこと。寅次郎の初ウォークも市広報で知った1997年（平成9年）の「藤沢七福神めぐり」でのFWA会員ですが、西澤さんご夫妻とはウォーク参加もFWA入会も「おしどり」でないのが大きな違いです。

奥様は寅次郎初の海外ウォーク2006年メンバー9名の紅一点でした。写真右はご主人撮影の同行メンバーです。（官公庁の食堂めぐり-6を参照ください）

小柄な身体である暑さで1日で中止になった世界最大のオランダの国際フォーデーズマーチを体験しています。更に大会中止の残った日程で我々が企画したドム塔ウォークで教会の465段の階段を上りきったのには驚きました。

寅次郎、フォーデーズマーチ1日目を終わり、足が張っていると言うと、



奥様から「きんかん」が良く効くと貸してもらったことを思い出します。

「きんかん」は虫さされ、かゆみ、ばかりだと思っていた寅次郎でしたが、効能を読むと腰痛、捻挫、打撲、肩こりが記載されています。塗ると気持ちよく、元気になった感じがするので、以来、寅次郎のウォーク常備薬で、奥様とは「きんかんの仲」です。

ご主人の久裕さんは入会后、若手として（当時はFWAでは60代は若手）2001年（平成13年）からスタッフをお願いし、2002年から理事、2004年から事務局次長、2006年から副会長、2008年からは第2代事務局長（長津豊さんの後任）2012年（平成24年）から2期4年間 第5代会長（寅次郎の後任）を歴任されました。会長退任後もFWAスタッフとして「健康は自分に贈る最高の贈り物」をモットーにウォーキングの普及に貢献されています。また地域社会に少しでもお役に立ちたいとお住まいの村岡地区の街づくり推進会議の委員としてお手伝いをされています。「人生100年時代」へ健康寿命を延ばすべく“ピンピン コロリ ウォーク！”を楽しんでいるそうです（寅次郎訳：元気で歩いて長患いをしないで天国へ！）なんとお二人は2015年（平成27年）にはそろって年間完全完歩達成、奥様は2回目の恐るべきおしどりウォーカーです。

又、お二人は全国のウォーキング大会にも参加し日本各地を歩いています。世界のウォーキング大会に参加し世界を歩く国際ショナルおしどりウォーカーです。特に2017年（平成29年）の英国「コッツウォルズ&湖水地方」の8日間のウォークは大変気に入ったと話しておられます。英国中央部に広がる丘陵地帯コッツウォルズは、“世界で一番美しい村”の異名を持つ、石造りのはちみつ色の街並み、野花が咲き乱れる草原・・・まるで絵本から抜け出したような世界がそこに広がっています（チラシより）下はチップングカムデンを歩く写真で先頭が西澤真智子さん、久裕さんは後ろに見える二人の先頭とのこと）この写真は2019年の参加申し込みのチラシに使われているそうです。



次回は 官公庁の食堂めぐり-23 荒川区役所 です。

平野 寅次郎 拝